

## 活動紹介

千葉県森林インストラクター会

活動分野	森に親しむ野外講座		
タイトル	豪雪が生んだ生物多様性豊かな森「ユネスコエコパーク」を歩く		
実施日時	平成29年6月14日(水)～15日(木)一泊二日		
実施場所	福島県只見町周辺のブナ林等		
受講者	26名(FIC会員1名含む)	FIC会員他スタッフ	4名

### 活動の内容 一泊二日の県外野外講座 (担当) 龍門、渡邊、執行、植村

約5年前は秋に実施。今回は雪解けの春の新緑のブナ林とヒメサユリ観賞を中心に実施。一日目は「恵みの森」(ブナ林の中の一枚岩盤の溪流歩き)を往復で約3時間散策。雪解けのためか秋より多い水流だが、参加者全員が水に濡れないように、又滑らぬようにストック等で水深と足元を確認しながら目的地の「中の滝」まで行き、スタート地点に戻った時には心地よい疲労感を体全体で感じていた様子。

うれしい事にこの日の宿泊は、露天風呂付温泉ホテルとあり、ゆっくりと体を癒やした後、夜の講演会。日中の疲労感もあり瞼を閉じての聴講姿もチラホラ。

翌日は快晴の中「癒しの森」の新緑のブナ林の周囲を観察、堪能しながらの散策。前日とは違いリラックス満点での散策。

午後からは只見駅近くの「ブナセンター」館内見学と、多少山の上にある「三石神社」近くの「百合平」にて今が盛りの自生しているヒメサユリ(中に一本だけ白いヒメサユリあり)と只見町の展望を楽しむ。

帰りのバスの中で参加者全員の感想をお聞きしたところ、ヒメサユリ、新緑のブナ、溪流歩き等が非常に印象深かったとの事。

今度は秋に再度企画してほしいとの声もチラホラあり。

参加者全員満足して頂き、且つ安全に催行出来てスタッフも満足した野外講座であった。

